

学会第1回研究倫理審査委員会報告

日 時 令和元年10月9日（水） 午後4時～同4時35分
場 所 日本歯科医師会 805会議室
出席者 <委 員> 川口陽子、清水典佳、中島ひかる、
宮脇卓也、横山敏秀
<会 長> 住友雅人
欠席者 <委 員> 木本茂成

1. 開 会

住友会長より、開会の辞。

2. 挨拶

住友会長より、挨拶。

引き続き、住友会長より、日本歯科医学会研究倫理審査に係る取扱い内規に基づき、第3条の委員会の組織について説明がなされた。

3. 紹 介

各委員の自己紹介が行われた後に、住友会長より各委員に委嘱状が手渡された。

ここで、日程を変更し、5. 協議、(1) 委員長の互選について、に移った。

5. 協 議

(1) 委員長の互選について

住友会長より、標記について諮られ、協議の結果、住友会長に一任された。

これを受けて住友会長より、委員長に清水典佳委員（日本大学歯学部特任教授）を指名した。

引き続き、住友会長より清水委員長に諮問書が手渡された。

以降の議事進行は、清水委員長のもとで行われることとなった。

ここで、日程を戻し、4. 報告、に移った。

4. 報 告

清水委員長より、以下の資料に基づき報告。

- ・ 審査の流れ図
- ・ 日本歯科医学会研究倫理審査に係る取扱い内規
- ・ 研究倫理審査申請書他様式

5. 協 議

(2) 本委員会の運営について

清水委員長より、諮問書に沿って、研究倫理審査を進めていくことが確認され、承認された。

(3) 申請研究の倫理審査について

清水委員長より、標記について諮られ、協議の結果、以下のコメントを研究実施責任者に提示し、それに対する回答について、メール審議することとした。

受付番号016 研究課題名：歯科診療所調査(かかりつけ歯科医の役割等について)

- 研究課題名は、『歯科診療所調査(かかりつけ歯科医の役割等について)』ではなく、アンケートの表題にある『地域包括ケアシステムにおけるかかりつけの歯科医師が果たす役割と今後の働き方等』に関する調査研究の方が、よいのではないかと。
- 被験者の除外基準に関して、文末の「配慮する」の部分を、具体的に記載していただきたい。(例：災害の被災地区や診療所では、アンケートを行わない 等)
- 研究終了後の試料・情報の取り扱い方法に関して、具体的に、保管期限、保管後の処理(例：溶解処理)、情報の取り扱い方法を記載していただきたい。
- 危険や不利益に対する対応に関して、患者に対してではなく、歯科医師を対象としたものである旨、記載いただきたい。

(4) その他

清水委員長より、今後申請があった場合は、委員長がはじめに目を通して、メール審査とするか、会議を開催し意見交換するかを判断する旨の提案がなされ、全会これを了承。

基本的には、メール審議とし、集まって意見交換が必要な場合のみ会議を開催することを確認した。

6. 閉 会

清水委員長より、閉会の辞。